



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社 T Y K
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 牛込 伸隆
 (氏名) 北原 譲
 TEL 0572-22-8151
 配当支払開始予定日 平成30年12月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,257	18.4	1,931	55.3	2,073	42.7	1,178	33.7
30年3月期第2四半期	11,196	14.0	1,243	59.8	1,452	172.2	880	162.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,392百万円 (26.1%) 30年3月期第2四半期 1,884百万円 (510.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	26.40	
30年3月期第2四半期	19.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	41,323	31,331	67.7	626.45
30年3月期	39,740	30,219	68.1	606.51

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 27,956百万円 30年3月期 27,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		5.00	8.00
31年3月期		5.00			
31年3月期(予想)				6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,590	12.8	3,180	20.8	3,450	17.3	2,400	35.6	53.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	45,477,000 株	30年3月期	45,477,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期2Q	850,347 株	30年3月期	850,250 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	44,626,686 株	30年3月期2Q	44,626,997 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、慢性的な人手不足の状態を抱えつつも、政府及び日銀が推進する経済・財政政策や、東京五輪関連需要が引き続き堅調であることから、企業業績の回復が続いております。一方海外においては、米国や欧州を中心に景気は引き続き底堅く推移しているものの、依然として米国現政権の保護主義的政策や、中東情勢の不安を一因とする原油価格の上昇等、懸念材料を抱えた不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要取引先であります国内鉄鋼業界におきましては、当第2四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前第2四半期連結累計期間比0.3%増の5,220万トンとなりました。

このような環境のもと、当社グループは品質第一の考えをもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んでまいりました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減など経営合理化を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、主要顧客であります製鋼メーカー向け耐火煉瓦及び不定形耐火物等の堅調な売上に支えられ、また新素材関連商品の売上増もあり132億57百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

利益面では、原材料費を中心とした調達コストの増加がみられたものの、売上増に伴い固定費負担が相対的に低下し採算性が向上したことで、売上原価は前年同期比で13億6百万円の増加にとどまり、販売費及び一般管理費についても同様に前年同期比で66百万円の増加にとどまったことから、営業利益は19億31百万円（前年同期比55.3%増）となりました。

経常利益は、主に保有する有価証券の配当金が増加したことにより、受取配当金が前年同期比で12百万円増加したものの、為替に関しては前年同期比で円高傾向であったため、前第2四半期連結累計期間は為替差益89百万円を計上していたものが、当第2四半期連結累計期間は為替差益11百万円を計上することとなり、経常利益は20億73百万円（前年同期比42.7%増）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億78百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①日本

国内の売上高は101億86百万円（前年同期比22.7%増）となりました。また、セグメント利益は19億16百万円（前年同期比58.7%増）となりました。

国内顧客向け販売は、耐火物業界を中心に引き合いの強い状態が続いており、そのため当社の販売量は堅調に推移しております。

②北米

北米の売上高は11億88百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、セグメント利益は42百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

米国景気は堅調に推移しており、顧客からの引き合いも多く売上・利益ともに改善しております。

③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高は14億67百万円（前年同期比6.3%増）となりました。また、セグメント利益は1億76百万円（前年同期比92.2%増）となりました。

引き続き販売好調で、販売構成の変化により採算性が改善したことで、売上・利益ともに改善しております。

④アジア

アジアの売上高は2億71百万円（前年同期比4.7%増）となりました。また、セグメント利益は10百万円（前年同期比53.0%減）となりました。

販売は微増となりましたが、製造費用の上昇により利益は減少しております。

⑤その他

その他の売上高は1億43百万円（前年同期比20.7%減）となりました。また、セグメント利益は64百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

販売は減少しておりますが、販売構成の変化等により利益は増加しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ、8億99百万円増加し、238億94百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(11億26百万円)、棚卸資産の増加(8億27百万円)、現金及び現金同等物の減少(10億63百万円)によるものであります。

(固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ、6億83百万円増加し、174億29百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産—その他に含まれる建設仮勘定の増加(3億46百万円)、投資有価証券の増加(1億47百万円)によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ、4億70百万円増加し、99億91百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等の増加(1億78百万円)、支払手形及び買掛金の増加(1億22百万円)、賞与引当金の増加(61百万円)によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ、11億12百万円増加し、313億31百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加(9億54百万円)、非支配株主持分の増加(2億22百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,764,110	7,700,881
受取手形及び売掛金	7,517,035	8,643,742
製品及び外注品	2,875,719	3,253,115
仕掛品	1,333,661	1,399,802
原材料及び貯蔵品	2,393,705	2,777,697
その他	126,524	139,397
貸倒引当金	△16,350	△20,466
流動資産合計	22,994,407	23,894,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,038,034	2,075,438
窯炉、機械装置及び運搬具(純額)	1,627,880	1,712,728
土地	4,806,652	4,809,268
その他(純額)	659,457	1,060,982
有形固定資産合計	9,132,025	9,658,417
無形固定資産	65,884	59,980
投資その他の資産		
投資有価証券	7,363,009	7,510,288
その他	260,612	273,707
貸倒引当金	△75,345	△73,195
投資その他の資産合計	7,548,276	7,710,801
固定資産合計	16,746,185	17,429,198
資産合計	39,740,593	41,323,369

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,365,001	1,487,855
短期借入金	3,943,208	3,974,712
未払法人税等	512,764	690,980
賞与引当金	389,757	450,874
その他	780,384	841,385
流動負債合計	6,991,116	7,445,808
固定負債		
繰延税金負債	276,740	215,613
役員退職慰労引当金	708,169	726,105
退職給付に係る負債	1,489,575	1,548,475
その他	55,866	55,779
固定負債合計	2,530,352	2,545,973
負債合計	9,521,469	9,991,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,462,007	2,462,007
利益剰余金	20,383,371	21,338,328
自己株式	△163,904	△163,945
株主資本合計	25,079,474	26,034,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,138,512	2,002,723
繰延ヘッジ損益	△7	△3,809
為替換算調整勘定	△151,476	△76,944
その他の包括利益累計額合計	1,987,028	1,921,970
非支配株主持分	3,152,621	3,375,226
純資産合計	30,219,124	31,331,586
負債純資産合計	39,740,593	41,323,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,196,557	13,257,398
売上原価	8,015,416	9,322,276
売上総利益	3,181,141	3,935,122
販売費及び一般管理費	1,937,553	2,003,713
営業利益	1,243,588	1,931,408
営業外収益		
受取利息	3,543	3,063
受取配当金	78,500	90,695
為替差益	89,931	11,301
不動産賃貸料	39,005	39,200
その他	14,917	18,346
営業外収益合計	225,899	162,606
営業外費用		
支払利息	11,146	15,085
不動産賃貸原価	5,368	5,664
その他	454	179
営業外費用合計	16,970	20,929
経常利益	1,452,517	2,073,085
特別利益		
固定資産売却益	1,207	834
投資有価証券売却益	—	3
貸倒引当金戻入額	—	2,500
特別利益合計	1,207	3,337
特別損失		
固定資産廃棄損	4,385	19,485
ゴルフ会員権評価損	6,860	1,000
損害賠償金	11,645	—
特別損失合計	22,890	20,485
税金等調整前四半期純利益	1,430,835	2,055,937
法人税等	412,595	614,952
四半期純利益	1,018,239	1,440,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	137,370	262,894
親会社株主に帰属する四半期純利益	880,868	1,178,090

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,018,239	1,440,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	761,471	△135,398
繰延ヘッジ損益	△22	△3,801
為替換算調整勘定	105,088	91,170
その他の包括利益合計	866,537	△48,029
四半期包括利益	1,884,776	1,392,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,719,203	1,113,032
非支配株主に係る四半期包括利益	165,573	279,923

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,430,835	2,055,937
減価償却費	378,265	388,749
有形固定資産廃棄損	4,385	19,485
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,207	△834
有価証券売却損益(△は益)	—	△3
ゴルフ会員権評価損	6,860	1,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,569	857
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,114	60,824
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21,418	57,732
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,024	17,935
受取利息及び受取配当金	△82,043	△93,758
支払利息	11,146	15,085
為替差損益(△は益)	△14,940	14,909
売上債権の増減額(△は増加)	△771,427	△1,050,037
たな卸資産の増減額(△は増加)	△425,807	△774,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,835	70,569
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,519	25,010
その他	95,506	△55,229
小計	544,505	754,167
利息及び配当金の受取額	82,091	93,715
利息の支払額	△11,146	△15,085
法人税等の支払額	△339,673	△442,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	275,777	390,486
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,004	288,557
定期預金の預入による支出	△73,091	△99,291
有形固定資産の売却による収入	1,208	838
有形固定資産の取得による支出	△326,993	△897,737
投資有価証券の売却による収入	—	4
投資有価証券の取得による支出	△10,619	△342,012
貸付金の回収による収入	250	250
その他	△9,342	274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,582	△1,049,116
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△398,260	29,997
自己株式の売却による収入	18	—
自己株式の取得による支出	△21	△40
配当金の支払額	△89,009	△222,378
非支配株主への配当金の支払額	△11,462	△56,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△498,736	△248,987
現金及び現金同等物に係る換算差額	59,071	25,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△552,470	△881,962
現金及び現金同等物の期首残高	7,712,885	7,098,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,160,414	6,216,788

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,298,576	1,076,586	1,380,821	259,859	11,015,844	180,713	11,196,557
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,370,315	—	40,962	2,358	1,413,636	468,001	1,881,637
計	9,668,892	1,076,586	1,421,784	262,217	12,429,480	648,714	13,078,195
セグメント利益	1,207,866	△9,192	91,596	21,742	1,312,012	61,177	1,373,190

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,312,012
「その他」の区分の利益	61,177
セグメント間取引消去	77,822
全社費用(注)	△207,423
四半期連結損益計算書の営業利益	1,243,588

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,186,265	1,188,494	1,467,397	271,954	13,114,111	143,286	13,257,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,421,081	—	60,890	15,087	1,497,058	543,055	2,040,113
計	11,607,346	1,188,494	1,528,288	287,041	14,611,170	686,342	15,297,512
セグメント利益	1,916,973	42,719	176,002	10,217	2,145,913	64,346	2,210,259

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,145,913
「その他」の区分の利益	64,346
セグメント間取引消去	△56,231
全社費用（注）	△222,620
四半期連結損益計算書の営業利益	1,931,408

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。